

自然農園だより

宮下 洋子
Hiroko Miyashita

朝いちばんの月の入り。マッカムの枝と共に。(会長撮影)

春一番の大仕事

これまでの2棟あるビニールハウスは、骨組みが細いので（パイプの直径28ミリ）雪が来る前にビニールを剥がしてあげないと、雪の重みで倒れてしまうのです。従って、露地はもちろんのこと、冬はハウスでも農作業が出来ませんでした。

また、春、剥がしたビニールを張り直すのも大変なところがあります。これは春一番の大仕事です。春と言っても、2月の初めには除雪して、ビニールをかけ、中を乾かして、温室を作り、3月の始めから苗作りを始めなければいけないので、私たち老夫婦にとっては、大変なことなのです。

多くの人に助けられて

去年は、記録的に雪が少なく、それでも、3月の半ばころから除雪を始め、4月10日に初

めて果菜類の種を播きました。スタートが一か月以上遅かったので、出荷始めも遅く、一年中仕事に追いまくられ、農作業のタイミングを外すことも多く、不本意な作物も多く出来てしまいました。

店とボランティアさんの助けがなかったら、もっともっとひどかったと思います。お陰様で曲がりなりにも農園を維持してることが出来ました。

新しいハウスを一棟建てました

冬の間は体力が落ちるので、冬もほど良く労働して春に備える為です。それで去年の9月ごろに、冬でもビニールを剥



がさなくても大丈夫な、太い骨組み（直径32ミリ）のハウスを建てました。これで3月初めからすぐに苗づくりが始められます。

そこにレタス系（サニーレタス、焼き肉レタス、ユーゴスラビアンレッド、エンダイブ、カステルフランコ）と、三つ葉、小松菜、法蓮草、ルッコラなどの葉物系を植えて、少しずつ出荷しています。もうほとんど終わり、法蓮草が少し残っているだけですが、三つ葉はこれから始まります。



一棟建てるで一棟壊れる

去年から今年にかけて、仁木は雪が多く、一晩で集中的に雪が降って、新しく建てたビニールハウスの倉庫が、朝起きてみたらつぶれていました。近所の人の通報で知りました。

「ええーつ、うっそー、OH-MY-GOD!!」

機械類を入れる倉庫です。春にならないと解体出来ないという事なので、中に入っている機械類が押しつぶされていないか心配です。危ないので、中に入れないので。運を天に任せるしかありません。再起不能という事で、新しく作らなくてはいけなくなってしまいました。

余市でも同じハウスが倒れたそうです。普通のビニールハウスも相当つぶれたようです。

安物買いの銭失い

鉄骨や、木造の倉庫は高くつくし、コンクリートの基礎をすると、さらに高くなるし、税金も高くなるので、倉庫にもなるというビニールハウスを建てたのです。こんなことなら、最初からお金をかけた方が良かったと反省しています。

私の母はよく「安物買いの銭失い」と言っていました。まさに身に沁みて思い出されます。でも、その時は、土地や機械類をたくさん買ったので、お金がなかったのです。

いよいよ種播き

まだまだ雪深い仁木ですが、3月から温室を作って、いよいよ種播きです。

早採りのハウス茄子や、赤玉ネギを一番に播きます。去年は玉ネギの苗作りが遅れて失敗したので、今年は時期を外さないように慎重に作って行きたいと思います。

直播は、法蓮草、小松菜、水菜、ルッコラなどの種を播く予定です。

仁木に来てから今年で6年目、だんだんと土も良くなってきて、今年は少し楽しみです。

基本的な野菜以外では、毎年同じものを作っていても楽しくない



ので、主人とカタログをみて、オー
1テストして、目新しいパワフルな
野菜にも挑戦していく予定です。上
手に出来るかどうか分からないの
で、出来るまで内緒です。



////////////////////////////////////

あっという間に3月

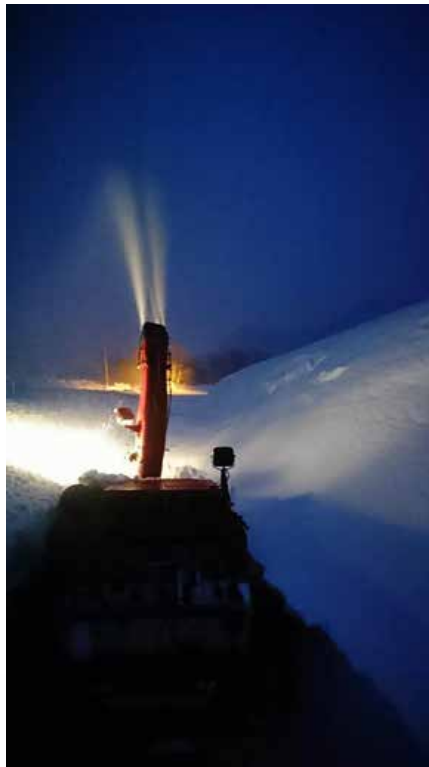
去年から今年にかけて、コロナ、
コロナと、アメリカ大統領選であっ
と言う間に過ぎました。

トランプさんは大統領にはなれませんでした
が、主要メディアに叩かれ、SNSを封鎖され、反
対勢力の言論統制によって、国民との伝達手段を
失っても、なお、アメリカ史上最高の7400万票
を獲得し、根強い国民人気を拡大し続けているよ
うに見受けられます。不正がなければもっと記録
は塗り替えられていたでしょう。

アメリカ大統領選の行方

1月6日の議会乱入暴動事
件を煽動したとして、トラン
プさんは、国会で弾劾裁判ま
で受けることになりましたが、
弾劾は成立せず、それは逆に
民主党側のでっち上げや、誹
謗中傷のプロパガンダを国民
に知らせることになった効果
の方が大きかったように思
います。

極左暴力集団であるアン
ティファヤ、BLMによる計画
的煽動的犯行であることが、
全国放送の公開裁判の中で、
ある程度国民に知らされるこ
とになり、彼らを雇っている
黒幕の存在も、見え隠れする
ようになってきました。



右の山は、すっかり雪に埋もれた新しい
ハウス。崩壊寸前、危機一髪！

司法の崩壊

連邦最高裁は、すべての大統領選の不正に関す
る裁判の上告案件（5件）を、審議さえもせず、
却下してしまいました。

これまで1月6日に大統領選の最終結果（代議
員投票）が出る前は、地方州議会での国民投票の
結果が出ていたにも拘わらず、その不正に関して
当事者資格がないという事で受け付けなかったの
です。

結果が出た後になると、「大統領選は、すでに
結果が出てしまった後になって審議しても意味が
ない」という理由にならない理由
で却下したのです。ではいつ提出
すればよかったのでしょうか？

この日は、アメリカ民主主義の
最後の砦である連邦最高裁が、自
らの存在意義を放棄した日でした。

本来裁判というのは、結果が出
て、証拠や証人があって初めて意
義申し立てをするもので、「あの
人が犯罪を犯しそうだから」とい
う主観的な憶測で訴えるものでは
ありません。そんなことをしたら、
逆に名誉棄損で逆提訴されても仕
方ありません。これがまかり通れ
ば、殺人も、どんな犯罪も、誰も
裁くことが出来なくなってしま
います。

憲法と法律に基づいた自由と平等の社会秩序の構築

トランプさんが掲げたのは、「憲法と法律に基づいた、自由と平等の社会秩序の構築」でした。

しかし、その実現手段としての選挙まで不正によって塗り固められ、連邦最高裁も機能しなかった時、トランプさんは、何を思ったのでしょうか。

選挙前から、反対勢力の不正を予測し、「決着は連邦最高裁でつけられるだろう」と最後の望みを託していたのに、です。

立法・行政・司法の三権独立と分離の崩壊

反トランプ攻撃しきれない主要メディアと、SNSまでシャットアウトして、国民に真実を隠蔽しようとする勢力の中で、立法・行政・司法の三権も独立と牽制の機能を失い、反トランプ勢力によって、コントロールされているかに見えます。

トランプさんは、CPAC（下記）での演説で、「最高裁判事には、一步を踏み出す勇気がなかった」と、反対勢力の脅しに屈した判事を非難せず、



思いやりの気持ちさえ見せました。

共和党のマコーネル上院院内総務が弾劾裁判で賛成に回った時には、あれほど激しく攻撃したのに、です。思いはあれど、行動できなかった人と、初めから行動する意思がない人とを明確に区別していることが読み取れる出来事でした。

弾劾裁判は共和党の最後の踏み絵

しかしながら弾劾裁判を有利な形で切り抜けたあたりから、完全に流れは変わりました。代議員投票でトランプさんを裏切った共和党議員も、弾劾裁判でさらに踏み絵を踏むことになり、白黒が鮮明になりました。



全米保守行動会議（CPAC）で演説

2月28日、全米の保守派が、年一回一堂に会する政治的なビッグイベント、全米保守行動会議（CPAC）で、トランプさんは、大統領選後、初めて公の場に姿を現し、心に響く大演説を行い、2万人以上の参加者から、信じられないほどの熱狂的な支

持を受けました。来年の中間選挙や2024年の大統領選挙に向けて、共和党が、そして、アメリカが、トランプさんを中心に一枚岩になり、上昇気流に乗った記念すべき日となりました。

また、全世界の自由と平和、民主主義と真実を愛する人たちに、再び、勇気と希望の灯を灯してくださいました。

マスコミによって作り上げられたトランプ像

これまで、過去大統領就任中の4年間、あれほど各方面から叩かれ、脅され、マスコミからも誹謗中傷され、共和党内部も分裂し四面楚歌、トランプ包囲網の中で孤立していたかに見える中で、マスコミによって作り上げられたトランプ像が、アメリカ国内はもちろんのこと、世界中を一人歩きしていたのです。

ビッグテックによる言論統制

選挙後は、トランプさんはもちろんのこと、トランプさんを支持する閣僚や弁護士までビッグテックによる言論統制で、アカウントをシャットダウンされてしまいました。国民にも世界にもSNSやメディアを通じて何も発信できなくなってしまったのです。

トランプ像を、もう一度作り直して戴けたら

そのような中、何故、トランプさんは、実質7400万票以上の票を勝ち取ることが出来、コロナ禍の中、1月6日の寒い国会議事堂の広場に、100万人以上の人たちを全国から集めることが出

来たのでしょうか。

これまで大手マスコミによってしか情報を得て来られなかった日本の方たちに、この事実を直視し、歪められたトランプ像を、もう一度作り直して戴けたらと思います。

庶民には分かるトランプさんの偉大さ

それは、アメリカ国民の一人一人が、実生活の中で、トランプさんが、私利私欲や、大資本家の立場ではなく、真に世界の平和を愛し、国民を愛し、アメリカを愛していることを確信しているからではないでしょうか。庶民には分かるのです。

大統領の任期中、たったの4年間で、多くの反対勢力に囲まれながら、主な選挙公約について多くを実現し、大きな成果を上げました。

《2020年2月4日トランプ米大統領の一般教書演説を参考にして》

① 黒人やヒスパニックなど最下層の人たちが、知識や技術など高い専門的な資格を身につけられ

るような職業訓練所を作り、リーマンショック以来の高い失業率を半分以上に下げ、雇用も創出し、落ち込んだGDPも驚異的に回復させました。

② エネルギー開発の規制緩和（エネルギー資源の自給を実現）

③ パリ協定からの離脱（離脱したけれど、環境は以前よりクリーンになった）

④ 入国審査の厳格化
空港や、港での入獄審査の厳格化はもちろんのこと



と、メキシコとの国境に壁を建設し、不法移民による麻薬や殺人犯やスパイの流入を防ぎ、人身売買の経路を断ち、国家安全保障と治安の維持に貢献。



に2か月間も隠蔽することによって、世界にパンデミックをひき起こした中共の邪悪な野望と覇権主義、武器なき経済的、思想的、共産主義的侵略と人権弾圧に、いち早く気づき、融和政策から分離政策に切り替え、世界をリードし、中国

包囲網を形成してきました。

⑤ 金融規制の緩和と、TPPからの離脱、北米自由貿易協定（NAFTA）の見直し、輸入関税の引き上げや、企業の大型減税、パリ協定からの離脱等によって、国内産業を保護するとともに、海外流出企業の国内回帰を促進し、雇用を創出。

等々、トランプ大統領の功績は書き切れませんが、これらのほとんどを、親中派のバイデンは、短期間のうちに50以上の大統領令を発令して覆そうとしています。

⑥ 安定した金融マクロ環境

米金融市場では、2020年2月6日に、ダウ工業株30種平均、S&P500種株価指数、ナスダック総合株価指数が、そろって過去最高値を更新。

日本も気づかないうちに、中国によって、国土や建物、会社や、教育機関、水源地や、安全保障上重要な場所（自衛隊や飛行場や港の回りなど）がどんどん買収され、滑走路まで出来て、大きな自治区が出来るまでになっているところもあります。

一方、米失業率は歴史的な低水準で推移し（2020年1月は3.6%）、米個人消費支出（PCE）物価指数（食品とエネルギーを除くコア指数）も安定（コロナがなければ、アメリカの財政再建も夢ではなかったと思われます）

これからの日本にとっても、世界にとっても、トランプ大統領のなき後、中国との融和政策がいかに危険かという事に、少しでも早く気づくこと、知ることが、どんなにか大切に思えます。

⑦ 中東で、エネルギー問題を、経済的にウィンウィンの関係で合意させ、中東和平を実現させました。

日本も主要メディアが真実の報道をしないばかり

⑧ アフガニスタンを始めとした海外の駐留米軍を撤退、削減し、軍事費を増強し、力関係を有利にしなが、抑止力として機能させ、任期中、一度も戦争を起こしませんでした。



⑨ 新型コロナを意図的

りではなく、日本政府も経済優先で、安全保障の問題に関して、親中、媚中で、国民にも危機感がないように思えます。まずは、少しでも大勢の方を知って戴くことが最優先かと思い、私の好きな関連動画を御紹介させて戴きたいと思います。

【ユーチューブのご紹介】

- ◆ harano タイムズ
- ◆ 及川幸久 THE WISDOM CHANNEL
- ◆ チャンネルつばさ 黒川あつひこ
- ◆ 張陽チャンネル
- ◆ チャンネル桜 北海道

- ◆ 虎の門ニュース
- ◆ 大紀元 「新聞看点」 李沐陽



ヤケオさんの援農日記

オサイ ヤケオ

こんにちわ。もう3月の売り出しなんですね。前回、農園での夕チヨンは気持ちいいなんて書いたバチが当たったの

か、前後の排泄器官に湿疹ができて、カユイカユイであっという間の感じです。



28日は仁木もすごく天気がよく、キラキラあおいろの空に真っ白な雪が美しかったのですが、如何せんムズムズヒリヒリでは気分爽快とはいきませんでした。

講演会も良かったです。去年は、ウイルスの恐怖に包まれているような会場の雰囲気でしたが、今年は、世の中の真実を知りたいという熱意のほうを強く感じました。

社会情勢の YouTube を見ても誰が本当のことを言ってるのかよくわかりません。でも YouTube は昔の面白いテレビが“見られるのがいいですね。天知茂のドラマで鶴田浩二のセリフに「国を守る純粋な気持ちで戦争に行ったが、白い手袋が操るベルトコンベアに乗せられただけだった。その白い手袋がまたちらほらしてきた。」というのがありました。



今や政治家官僚だけでなくテレビや新聞もすでに白い手袋なのかもしれません。「結局この国は何も変わってないんだ！」天知茂のセリフです。50年近く前のドラマですが色褪せてないですね。鶴田浩二は「世の中右も左も真っ暗闇」、天知茂は「うまれたときが悪いのかそれとも俺が悪いのか」と唄ってましたが、今は四方八方真っ暗闇、明らかに悪い時代になってしまったと思います。

イベントでなくても、会長、顧問とお話しさせてもらえる機会があるのが、援農の嬉しいところです。僕のカユイカユイも病院に行きましたが、検査と薬の対処療法だけだったので、顧問に相談させていただきました。お菓子の食べ過ぎで体の奥から毒素が出ているようです。



- 雪はまだ1メートル以上積もってますが、春は近づいているらしく、ハウスの温度が30度になる日もありました。久しぶりに裸足になってアーシングもできました。
- ほうれん草も大きくなりましたし、みんなで植えた三つ葉は、一度枯れかけましたが、復活しましたよ。是非お手にとってみてください。
- 苗づくりの準備も始まりました。苗床を作っていると、除雪を終えた会長が「休憩しなよ」とコーヒーを持って来てくれて、フゴッペ洞窟のカマキリ聖人のお話しをしてくれました。すごく面白いお話でしたが、その晩に変な夢を見ました。穴にはまっているテニスラケットを持った美女を助けてあげたら、ラケットは鎌に、美女はカマキリ女に変身して、自分は穴の中で絶望してるのです。カユイカユイのせいだな。パンツに白菜を詰めて寝れば、夢で素敵な美女に逢えるのかも。顧問のアドバイスではありません（念のため）。